

Netra Blade X3-2B (旧 Sun Netra X6270 M3 Blade) VMware ESXi

インストールガイド

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはOracle Corporationおよびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Intel, Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

このドキュメントの使用方法	5
プロダクトノート	5
関連ドキュメント	5
フィードバック	6
サポートとアクセシビリティ	6
VMware ESXi 5 のインストールについて	7
インストールのタスクマップ	7
VMware ESXi 5 およびブレードのドキュメント	8
ソフトウェアのインストールオプション	8
単一サーバーへの対話式インストールの方法	9
ESXi 5 のインストールの準備	11
ローカルインストールを設定する	11
リモートインストールを設定する	12
必要な情報を収集する	13
UEFI BIOS を使用可能にする	14
BIOS の最適デフォルト値を確認する	15
仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定	17
VMware ESXi 5 のインストール	19
ローカルまたはリモートの対話式インストールを使用して VMware ESXi 5 をインストールする	19
VMware ESXi 5 を更新する	20
VMware ESXi 5 ドライバをインストールする	21

このドキュメントの使用方法

このドキュメントでは、使用しているサーバーに VMware ESXi ソフトウェアをインストールする方法について説明します。

- 5 ページの「プロダクトノート」
- 5 ページの「関連ドキュメント」
- 6 ページの「フィードバック」
- 6 ページの「サポートとアクセシビリティ」

プロダクトノート

この製品に関する最新の情報と既知の問題については、次にあるプロダクトノートを参照してください。

<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=NetraBladeX3-2B>

関連ドキュメント

ドキュメント	リンク
すべての Oracle 製品	http://www.oracle.com/documentation
Netra Blade X3-2B	http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=NetraBladeX3-2B
Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.1	http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=ilom31
Oracle Hardware Management Pack	http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=ohmp

フィードバック

このドキュメントについてのフィードバックは次からお寄せください。

<http://www.oracle.com/goto/docfeedback>

サポートとアクセシビリティ

説明	リンク
My Oracle Support を通じた電子的なサポートへのアクセス	http://support.oracle.com 聴覚障害の方へ: http://www.oracle.com/accessibility/support.html
アクセシビリティへの Oracle のコミットメントについて学習します	http://www.oracle.com/us/corporate/accessibility/index.html
トレーニングに関する情報を取得します	http://education.oracle.com

VMware ESXi 5 のインストールについて

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 7 ページの「インストールのタスクマップ」
- 8 ページの「VMware ESXi 5 およびブレードのドキュメント」
- 8 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」
- 9 ページの「単一サーバーへの対話式インストールの方法」

インストールのタスクマップ

次の表に、VMware ESXi ソフトウェアの大まかなインストールタスクを示します。

手順	説明	リンク
1	VMware ESXi 5 ドキュメントにアクセスします	8 ページの「VMware ESXi 5 およびブレードのドキュメント」
2	VMware ESXi 5 サーバーのインストールオプションについて学習します。	8 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」
3	使用する対話式インストールの方法を決定します (必要な場合)。	9 ページの「単一サーバーへの対話式インストールの方法」
3	VMware ESXi 5 をインストールできるようにブレードを準備します。	11 ページの「ESXi 5 のインストールの準備」
4	利用可能なオプションのいずれかを使用して VMware ESXi 5 ソフトウェアをインストールします。	19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」
5	VMware ESXi 5 ソフトウェアを更新します。	20 ページの「VMware ESXi 5 を更新する」

VMware ESXi 5 およびブレードのドキュメント

VMware ESXi 5 のドキュメントは、次で入手できます。

<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/index.jsp>

サーバーに関する最新情報は、『Netra Blade X3-2B プロダクトノート』で維持されています。このドキュメント、その他のサーバー固有のドキュメント、および関連ドキュメントは、http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=Sun_Netra_X6270_M3 にあるブレードのドキュメントライブラリからオンラインで入手できます。

関連情報

- 8 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」
- 19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」

ソフトウェアのインストールオプション

このドキュメントでは、ローカルおよびリモートでの ESXi 5.0 の対話式インストールについて説明します。ソフトウェアのインストールについては、ほかにも VMware ESXi 5.0 のドキュメントに記載されているオプションがあります。

VMware ESXi 5.0 では、次のインストールオプションを利用できます。

- **ESXi** の対話式インストール: サーバーが 5 台未満のインストールの場合は、この方法をお勧めします。
このドキュメントで説明する対話式インストール方法については、[9 ページの「単一サーバーへの対話式インストールの方法」](#)を参照してください。
- スクリプトによる **ESXi** のインストール: スクリプトの実行は、無人のインストールで複数の ESXi ホストを配備するための効率的な方法です。
スクリプトによるインストールの手順については、xSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。
- **vSphere Auto Deploy** による **ESXi** のインストール: vSphere Auto Deploy による ESXi のインストールでは、vCenter Server で多数の ESXi ホストを効率的にプロビジョニングおよび再プロビジョニングできます。
Auto Deploy によるインストールの手順については、xSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。
- **ESXi Image Builder CLI**: ESXi Image Builder を使用して、カスタマイズされた更新、パッチ、およびドライバのセットを含む ESXi インストールイメージを作成できます。

ESX Image Builder CLI の手順については、xSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。

関連情報

- [8 ページの「VMware ESXi 5 およびブレードのドキュメント」](#)
- [19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」](#)

単一サーバーへの対話式インストールの方法

このドキュメントでは、単一サーバーへのリモートまたはローカルインストール用にインストール環境を設定する手順について説明します。サーバーの数が少ない配備では、対話式インストールをお勧めします。

メディアの配布方法	その他の要件	インストール手順へのリンク
ローカルでの CD/DVD/USB ドライブの使用 - サーバーまたはサーバー USB ドライブに接続した物理 CD/DVD ドライブを使用します。	モニター、USB キーボードとマウス、USB CD/DVD ドライブ、および ESXi 5.0 配布メディア。	19 ページの「ローカルまたはリモートの対話式インストールを使用して VMware ESXi 5 をインストールする」
リモートでの CD/DVD ドライブまたは CD/DVD の ISO イメージの使用 - Oracle ILOM リモートコンソールアプリケーションを実行しているリモートシステム上でリダイレクトされた物理 CD/DVD ドライブを使用します。	ブラウザを備えたりリモートシステム、接続されている物理 CD/DVD ドライブ、ESXi 配布メディア、およびサーバーの管理ポートへのネットワークアクセス。	19 ページの「ローカルまたはリモートの対話式インストールを使用して VMware ESXi 5 をインストールする」
PXE イメージ - PXE サーバーにインストールされた OS イメージを使用します。	OS イメージがインストールされた PXE サーバー。	PXE サーバーインストールは、このドキュメントの適用範囲に含まれません。 PXE インストールについては、xSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。

関連情報

- [11 ページの「ESXi 5 のインストールの準備」](#)
- [19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」](#)

ESXi 5 のインストールの準備

次の表に、ESXi 5 の対話式インストールを準備するための大まかな手順をまとめてあります。

注 - PXE サーバーを使用して ESXi 5 の対話式インストールを実行することもできます。PXE サーバーを使用した ESXi のインストールについては、vSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。

説明	リンク
該当する手順を使用してインストール環境を設定します。	11 ページの「ローカルインストールを設定する」 12 ページの「リモートインストールを設定する」
インストールに必要な情報を収集します。	13 ページの「必要な情報を収集する」
UEFI BIOS を使用可能にします (必要な場合)。	14 ページの「UEFI BIOS を使用可能にする」
BIOS の最適デフォルト値を確認します (必要な場合)。	15 ページの「BIOS の最適デフォルト値を確認する」
仮想ディスクを作成します。	17 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」

▼ ローカルインストールを設定する

- 始める前に
- サーバーのハードウェアクロックが UTC に設定されていることを確認します。この設定は、システム BIOS 内にあります。
 - ネットワークストレージの切り離しを検討します。この操作により、インストーラが利用可能なディスクドライブを検索するのにかかる時間が短縮されます。

注-ネットワークストレージを切り離すと、切り離されたディスク上のすべてのファイルがインストール時に利用できなくなります。既存の ESX または ESXi インストールを含む LUN は切り離さないでください。既存の ESX インストールのサービスコンソールを含む VMFS データストアは切り離さないでください。これらの操作は、インストールの結果に影響を及ぼす可能性があります。

- 1 **Netra Blade X3-2B** の『**Netra Blade X3-2B** プロダクトノート』および **VMware** のドキュメントを確認します。
 - Netra Blade X3-2B のドキュメントは、次で入手できます。
http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=Sun_Netra_X6270_M3
 - VMware ESXi 5 ソフトウェアのドキュメントは、次で入手できます。
<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/index.jsp>
- 2 **VMware** の Web サイトから **VMware ESXi 5** イメージ (.iso) ファイルのコピーをダウンロードします。
<http://www.vmware.com/download/>
- 3 .iso ファイルのコピーを **DVD** または **USB** ドライブに書き込みます。
- 4 次をブレードのドングルケーブルに接続します。
 - DVD-ROM ドライブ (必要な場合)
 - USB キーボードとマウス
 - モニター

サーバーの配線方法の詳細は、『設置』の「ブレードの配線」を参照してください。

参考 その他の操作

- 15 ページの「BIOS の最適デフォルト値を確認する」
- 17 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」
- 19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」

▼ リモートインストールを設定する

- 1 『**Netra Blade X3-2B** プロダクトノート』および **VMware** のドキュメントを確認します。
VMware ESXi 5 ソフトウェアのドキュメントは、次で入手できます。
<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/index.jsp>

- 2 次のいずれかの方法でVMware ESXi ソフトウェアをダウンロードします。
 - VMware ESXi 5 ソフトウェアをダウンロードし、ダウンロードした .iso イメージを使用してインストールCD/DVDを作成します。
 - リモートサーバーにソフトウェアをダウンロードします。
 VMware ESXi 5 ソフトウェアは <http://www.vmware.com/download/> で入手できます。
- 3 次をリモートサーバーに接続します。
 - DVD-ROM ドライブ (メディアからインストールする場合)
 - USB キーボードとマウス
 - モニター
- 4 Oracle ILOM リモートコンソールを設定します。
 Oracle ILOM リモートコンソールの設定手順については、『設置』の「ブレードに接続する (リモートコンソール)」を参照してください。

参考 その他の操作

- 15 ページの「BIOS の最適デフォルト値を確認する」
- 17 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」
- 19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」

必要な情報を収集する

対話式インストールでは、必要なシステム情報を求めるプロンプトがシステムで表示されます。スクリプトによるインストールでは、インストールスクリプトでこの情報を指定する必要があります。

将来の使用に備えて、インストール中に使用する値を書きとめておいてください。これらのメモは、ESXi を再インストールし、最初に選択した値を再入力する必要がある場合に役に立ちます。

情報	必須またはオプション	デフォルト	コメント
キーボードレイアウト	必須	U.S. 英語	
VLAN ID	オプション	なし	範囲:0 から 4094

情報	必須またはオプション	デフォルト	コメント
IP アドレス	オプション	DHCP	インストール中に DHCP がネットワークを構成できるようにすることができます。インストール後、ネットワーク設定を変更できます。
サブネットマスク	オプション	IP アドレスに基づいて計算される	
ゲートウェイ	オプション	構成された IP アドレスおよびサブネットマスクに基づく	
プライマリ DNS	オプション	構成された IP アドレスおよびサブネットマスクに基づく	
セカンダリ DNS	オプション	なし	
ホスト名	静的な IP 設定の場合は必須	なし	vSphere クライアントは、ESXi ホストにアクセスするためにホスト名または IP アドレスを使用できます。
インストール場所	必須	なし	1つのディスクにコンポーネントをインストールする場合は、少なくとも 5GB が必要です。
既存の ESX または ESXi 設定を移行します。既存の VMFS データストアを保持します。	既存の ESXi または ESX インストールを含むドライブに ESXi をインストールする場合は必須。	なし	ESXi ドキュメントで、「既存の ESX/ESXi インストールまたは VMFS データストアを持つドライブへの ESXi のインストール」を参照してください。
root パスワード	オプション	なし	root パスワードには、6 から 64 文字が含まれている必要があります。

▼ UEFI BIOS を使用可能にする

VMware ESXi 5.0 は UEFI BIOS をサポートしています。UEFI BIOS の詳細は、『管理』の「Legacy または UEFI BIOS の選択」を参照してください。

ソフトウェアをインストールする前に、UEFI BIOS を使用可能にする必要があります。

注-ネットワーク経由でVMware ESXi 5.0 インストールを実行している場合、UEFI BIOSはサポートされません。デフォルトのレガシー BIOS モードを使用する必要があります。

- 1 サーバーの電源を入れるか、または電源を再投入します。
- 2 BIOS 設定ユーティリティに入るには、プロンプトが表示されたところでF2 キーを押します。
- 3 BIOS のメインメニュー画面で、「Boot」を選択します。
- 4 ブート画面から、「UEFI/Boot Mode」を選択します。
「UEFI/BIOS Boot Mode」画面が表示されます。
- 5 上下の矢印キーを使用して「UEFI」を選択します。
- 6 F10 キーを押して BIOS 設定ユーティリティを保存して終了します。

▼ BIOS の最適デフォルト値を確認する

BIOS 設定ユーティリティでは、最適デフォルト値を設定できるほか、必要に応じて BIOS 設定を表示および編集できます。BIOS 設定ユーティリティ (F2 キー) で行った変更はすべて、次回にそれらを変更するまで永続的に適用されます。

注-OSの初回インストールで、BIOSのデフォルトを変更していない場合は、この手順を実行する必要はありません。

F2 キーを使用してシステム BIOS 設定を表示または編集できるほか、BIOS の起動中に F8 キーを使用することで、一時ブートデバイスを指定できます。F8 キーを使用して一時ブートデバイスを設定した場合、この変更は現在のシステムブートでのみ有効です。一時ブートデバイスでブートしたあとは、F2 キーで指定した常時ブートデバイスが有効になります。

始める前に 開始する前に、次の要件を満たしていることを確認してください。

- サーバーにはハードドライブ (HDD) が装備されています。
- HDD または SDD がサーバーに適切に設置されています。手順については、『Netra Blade X3-2B サービスマニュアル』を参照してください。
- サーバーへのコンソール接続が確立されています。

- 1 サーバーの電源を入れ直します。例:

- Oracle ILOM の Web インタフェースから、「Host Management」 > 「Power Control」を選択し、「Select Action」リストから「Reset」を選択します。
 - ローカルサーバーの場合は、サーバーのフロントパネルにある電源ボタンを約1秒押し続けてサーバーの電源を切った後、電源ボタンをもう一度押し続けてサーバーの電源を入れます。BIOS 画面が表示されます。
- 2 BIOS 画面でプロンプトが表示されたら、**F2** キーを押して BIOS 設定ユーティリティにアクセスします。
しばらくして、BIOS 設定ユーティリティが表示されます。
 - 3 出荷時のデフォルト値が設定されていることを確認するには、次を実行します。
 - a. 出荷時の最適デフォルト設定を自動的に読み込むには、**F9** キーを押します。
メッセージが表示され、「OK」を選択してこの操作を続けるか、「CANCEL」を選択してこの操作を取り消すよう指示されます。
 - b. メッセージで「OK」を強調表示して、**Enter** キーを押します。
BIOS 設定ユーティリティ画面が表示され、システム時間フィールドの最初の値が強調表示されます。
 - 4 BIOS 設定ユーティリティで次の手順を実行して、システム時間またはシステム日付に関する値を編集します。
 - a. 変更する値を強調表示します。上下の矢印キーを使用して、システムの時間とシステム日付の選択を変更します。
 - b. 強調表示されたフィールドの値を変更するには、これらのキーを使用します。
 - プラス (+) を押すと、表示されている現在の値が増加します
 - マイナス (-) キーを使用すると、現在表示されている値が減少します
 - Enter キーを押すと、カーソルが次の値フィールドに移動します
 - 5 ブート設定にアクセスするには、「**Boot**」メニューを選択します。
「Boot Settings」メニューが表示されます。
 - 6 「**Boot Settings**」メニューで、下矢印キーを使用して「**Boot Device Priority**」を選択してから、**Enter** キーを押します。
「Boot Device Priority」メニューが表示され、認識されているブートデバイスの順序が示されます。リストの最初のデバイスが、ブートの優先度がもっとも高いデバイスです。

- 7 「**Boot Device Priority**」メニューで、リストの最初のブートデバイスエントリを編集するには、次を実行します。
 - a. 上下矢印キーを使用してリストの最初のエントリを選択してから、**Enter** キーを押します。
 - b. 「**Options**」メニューで、上下矢印キーを使用してデフォルトの常時ブートデバイスを選択してから、**Enter** キーを押します。

「**Boot**」メニューおよび「**Options**」メニューに表示されるデバイス文字列は、デバイスタイプ、スロットインジケータ、製品 ID 文字列という形式になっています。

注-変更するデバイスエントリごとに手順 7a および 7b を繰り返して、リスト内のほかのデバイスのブート順序を変更できます。

- 8 **F10** キーを押すか、「**Exit**」メニューの「**Save**」を選択して、変更を保存し、**BIOS** 設定ユーティリティを終了します。

注-Oracle ILOM リモートコンソールを使用している場合、**F10** キーはローカル OS にトラップされます。コンソール最上部の「**Keyboard**」メニューに表示されている **F10** オプションを使用してください。

参考 その他の操作

- [17 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」](#)
- [19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」](#)

仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定

Sun Storage RAID 6Gb/s SAS RAID REM HBA (SGX-SAS6-R-REM-Z) がブレードに取り付けられている場合は、ESXi 5 ソフトウェアをインストールする前に仮想ディスクを作成する必要があります。

Sun Storage 6Gb/s SAS REM HBA (SGX-SAS6-REM-Z) が取り付けられている場合は、仮想ディスクを作成する必要はありません。『設置』の「オペレーティングシステムをインストールするストレージデバイスの準備」を参照してください。

VMware ESXi 5 のインストール

VMware ESX/ESXi 5 のインストールには次の手順が含まれます。

手順	説明	リンク
1	ローカルまたはリモートメディアを使用して VMware ESXi 5 をインストールします。	19 ページの「ローカルまたはリモートの対話式インストールを使用して VMware ESXi 5 をインストールする」
2	VMware ESXi 5 ソフトウェアおよびドライバを更新します。	20 ページの「VMware ESXi 5 を更新する」

▼ ローカルまたはリモートの対話式インストールを使用して **VMware ESXi 5** をインストールする

始める前に [11 ページの「ESXi 5 のインストールの準備」](#) の準備手順をすべて完了します。

注 - PXE サーバーを使用して ESXi 5 の対話式インストールを実行することもできます。PXE サーバーを使用した ESXi のインストールについては、ESXi 5.0 のインストールおよびセットアップドキュメントを参照してください。

- 1 サーバーの設置ガイドに記載されている方法のいずれかを使用してサーバーコンソールに接続します。次のいずれかの手順を参照してください。
 - [11 ページの「ローカルインストールを設定する」](#)
 - [12 ページの「リモートインストールを設定する」](#)
- 2 サーバーの電源を入れるか、またはリセットします。
BIOS メッセージがコンソールに表示されます。
- 3 ローカルサーバーまたはリモートサーバーに配布メディアを挿入します。
追加の BIOS メッセージがコンソールに表示されます。

- 4 メッセージで一連の選択肢が表示されたら、**F8** キーを押します。

```
Initializing USB Controllers .. Done.  
Press F2 to run Setup (CTRL+E on Remote Keyboard)  
Press F8 for BBS POPUP (CTRL+P on Remote Keyboard)  
Press F12 to boot from the network (CTRL+N on Remote Keyboard)
```

しばらくすると、メニューにブートデバイスの選択肢が表示されます。

```
-----  
Please select boot device:  
-----  
USB CD/DVD  
PXE:IBA GE Slot 1000 v1331  
PXE:IBA GE Slot 1001 v1331  
PXE:IBA GE Slot 4100 v1331  
PXE:IBA GE Slot 4101 v1331  
PXE:IBA GE Slot 8100 v1331  
PXE:IBA GE Slot 8101 v1331  
PXE:IBA GE Slot C100 v1331  
PXE:IBA GE Slot C101 v1331  
-----
```

- 5 リストから **CD/DVD** または **USB** ドライブを選択します。
制御がメディア上の OS インストールプログラムに移ります。
- 6 **VMware vSphere 5** のドキュメントの手順に従ってインストールを完了します。
8 ページの「**VMware ESXi 5 およびブレードのドキュメント**」を参照してください。

参考 その他の操作

- 21 ページの「**VMware ESXi 5 ドライバをインストールする**」
- 20 ページの「**VMware ESXi 5 を更新する**」

▼ VMware ESXi 5 を更新する

- 1 **VMware ESXi 5** の更新を実行する前に、**ESXi 5.0** のインストールおよびセットアップドキュメントを参照してください。
- 2 **VMware** の **Web** サイトを調べて、利用できる更新があるかどうかを確認します。
<http://www.vmware.com/support/>
- 3 **VMware** の **Web** サイトで説明されているように、すべての更新をダウンロードしてインストールします。

参考 関連情報

- 19 ページの「ローカルまたはリモートの対話式インストールを使用して VMware ESXi 5 をインストールする」
- 21 ページの「VMware ESXi 5 ドライバをインストールする」

▼ VMware ESXi 5 ドライバをインストールする

- Netra Blade X3-2B ソフトウェアへのアクセス方法については、『*Netra Blade X3-2B* プロダクトノート』を参照してください。

参考 その他の操作

- 20 ページの「VMware ESXi 5 を更新する」

